

Topics 理数科2年生 乗鞍岳野外研修を行いました

理数科では、例年7月に野外自然観察、または研究所等での実習を行っています。今年度は、乗鞍岳で2年生が標高と植生の変化の関係を学ぶために野外観察を実施しました。

乗鞍岳は標高 2700 m の畳平までバスで行くことができ、山地帯から高山帯までの植物の変化を観察することができます。雨が心配されましたが、雲間に槍ヶ岳や穂高岳を望むことができました。梅雨明けが早かったこともあり、高山植物の開花も進んでおり、雪解けの早いお花畑の入り口付近では、ハクサンイチゲやクロユリの花卉が散っていたり、しおれ気味であったりしました。

滞在時間に限りがあるため、乗鞍岳の山頂の剣ヶ峰には向かわず、畳平にあるお花畑と、魔王岳にて植物観察を行いました。お花畑では水を好む多くの花が、魔王岳では不安定な斜面に生えるコマクサなどの花が咲いていました。わずかな環境の違いによっても植物の分布に違いがあることなどを学びました。



お花畑へスタート



クロユリの
匂いは？





お花畑の花々





魔王岳へ登ります



登山道沿いの斜面には登山者憧れのコマクサが



魔王岳園地にて 最高峰の剣ヶ峰は雲の中



魔王岳園地でお弁当



雲がかかる槍ヶ岳(左奥)、奥穂高岳(中央)の山頂

